

オーストラリア株式ファンド

運用報告書（全体版）

第71期（決算日 2026年5月15日）第72期（決算日 2026年8月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「オーストラリア株式ファンド」は、2026年8月17日に第72期の決算を行ないましたので、第71期と第72期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2008年9月26日から2049年8月13日までです。		
運 用 方 針	主として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。		
主要運用対象	オーストラリア株式ファンド	「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。	
	オーストラリア株式マザーファンド	オーストラリア企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。	
組 入 制 限	オーストラリア株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	オーストラリア株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。		

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

<441031>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			S & P / A S X (税引後配当込み、 ベンチマーク)	2 0 0 指 数 (円換算ベース)	株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	達 配	み 期 金 騰 落 中 率					
	円		円	%		%	%	%	百万円
63期(2024年5月15日)	7,766		120	7.6	340.97	10.5	91.2	3.9	3,011
64期(2024年8月15日)	7,097		120	△7.1	325.10	△4.7	89.1	7.8	2,709
65期(2024年11月15日)	7,394		120	5.9	359.84	10.7	89.1	7.7	2,813
66期(2025年2月17日)	7,120		120	△2.1	357.88	△0.5	85.3	8.5	2,622
67期(2025年5月15日)	6,897		120	△1.4	342.18	△4.4	87.3	8.9	2,505
68期(2025年8月15日)	7,452		120	9.8	374.80	9.5	88.5	8.7	2,578
69期(2025年11月17日)	7,833		120	6.7	388.79	3.7	88.8	8.2	2,646
70期(2026年2月16日)	8,405		120	8.8	431.63	11.0	90.8	5.1	2,763
71期(2026年5月15日)	8,624		120	4.0	446.58	3.5	90.9	4.9	2,909
72期(2026年8月17日)	8,679		120	2.0	466.51	4.5	90.1	5.6	2,774

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) S&P/ASX 200指数（税引後配当込み）は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&PDJI）が発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。同指数の（円換算ベース）とは、公表指数を基に円換算したものです。なお、設定時を100として2026年8月17日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 2 0 0 指 数 (税引後配当込み、円換算ベース) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第71期	(期 首) 2026年 2 月16日	円 8,405	% —	431.63	% —	% 90.8	% 5.1
	2 月 末	8,880	5.7	454.78	5.4	89.3	5.0
	3 月 末	8,282	△1.5	418.75	△3.0	90.6	4.6
	4 月 末	8,756	4.2	448.03	3.8	90.5	4.7
	(期 末) 2026年 5 月15日	8,744	4.0	446.58	3.5	90.9	4.9
第72期	(期 首) 2026年 5 月15日	8,624	—	446.58	—	90.9	4.9
	5 月 末	8,515	△1.3	444.15	△0.5	90.2	5.0
	6 月 末	8,502	△1.4	446.26	△0.1	87.3	8.2
	7 月 末	8,755	1.5	459.40	2.9	89.7	6.2
	(期 末) 2026年 8 月17日	8,799	2.0	466.51	4.5	90.1	5.6

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

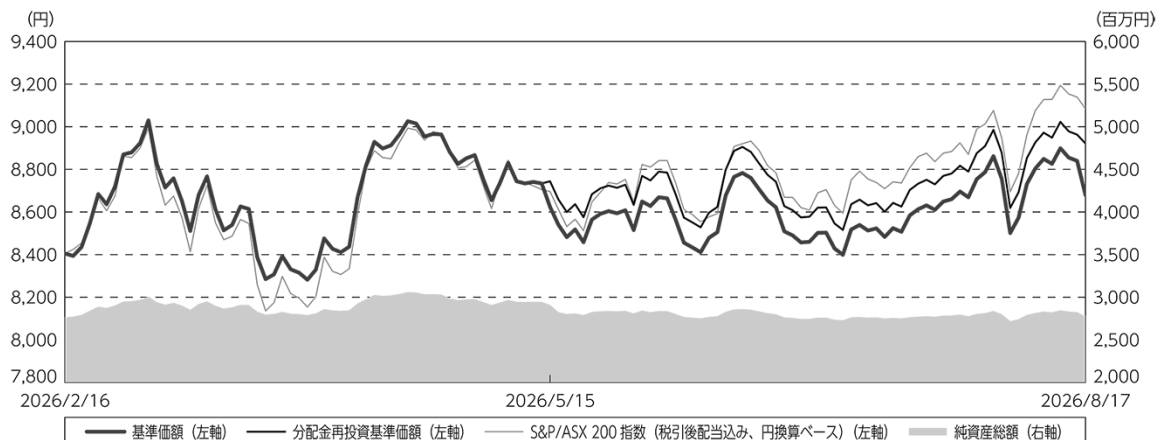
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2026年2月17日～2026年8月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



第71期首：8,405円

第72期末：8,679円 (既払分配金 (税込み) : 240円)

騰 落 率： 6.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS&P/ASX 200指数 (税引後配当込み、円換算ベース) は、作成期首 (2026年2月16日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P/ASX 200指数 (税引後配当込み、円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、オーストラリアの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・世界の株式市場が概ね堅調に推移したこと。
- ・中東情勢などを背景としたエネルギー価格の上昇が、エネルギー関連銘柄の株価を押し上げたこと。

<値下がり要因>

- ・インフレ圧力の再燃を受けてオーストラリア準備銀行 (RBA) が複数回の利上げを実施したこと。
- ・米国・イスラエルとイランの軍事衝突の長期化懸念。

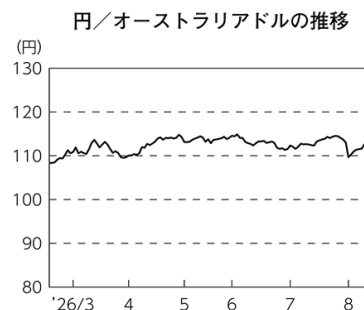
投資環境

(オーストラリア株式市況)

オーストラリア株式市場は若干上昇しました。期間前半の2026年3月は、前月末に始まった米国・イスラエルとイランの軍事衝突から地政学リスクが高まり、株式市場は一時大きく下落しました。しかしその後は、中国の景気対策への期待などから投資家心理が改善しました。加えて、原油価格の上昇を受けてエネルギー関連企業の株価が上昇したほか、米国ハイテク株高やAI（人工知能）関連投資への期待を追い風に、オーストラリア株式市場でも同セクターに買いが集まり、主要株価指数は期間末にかけて史上最高値圏まで上昇しました。

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(オーストラリア株式マザーファンド)

期間中、ポートフォリオでは、経済環境やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、配当利回りなどを勘案し活発な銘柄入替を行ないました。

具体的には、市場の期待が高まったことで株価が上昇した銘柄を売却した一方で、相対的に株価が低迷し、また成長余地が見込まれる銘柄については、段階的な組み入れを実施しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、6.1%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率8.1%を概ね1.9%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

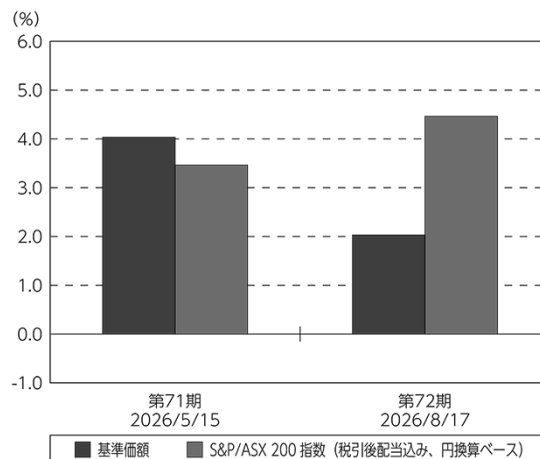
<プラス要因>

- ・エネルギー関連の大手企業の保有が、原油価格の上昇などを背景に、プラス寄与となりました。
- ・バリュエーション（価値評価）の割高な銘柄の一角に消極姿勢で臨んでいたこと。P E R（株価収益率）などで見て過去の水準から乖離している銘柄の幾つかがアンダーパフォームし、相対的にプラスに働きました。

<マイナス要因>

- ・金を生産する大手企業の保有が、金価格に追随して株価が下落し、マイナスに働きました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第71期	第72期
	2026年2月17日～ 2026年5月15日	2026年5月16日～ 2026年8月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	120 1.372%	120 1.364%
当期の収益	120	99
当期の収益以外	—	20
翌期繰越分配対象額	3,969	4,023

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(オーストラリア株式マザーファンド)

オーストラリア株式市場において配当利回りの高い企業への投資魅力が高まりつつあるとみています。税制変更の見通しや企業の配当余力拡大などが、安定的な配当収入を重視する投資スタイルの追い風になると考えています。一方で、オーストラリア経済は成長鈍化への懸念や高金利が長期化する可能性、根強いインフレ圧力などの課題を抱えています。

市場全体のバリュエーションは改善しているものの、当戦略では、企業の利益見通しには、なお慎重な見方をしています。特に銀行、ヘルスケア、不動産、金関連セクターについては注意深くモニタリングしています。こうした環境下では、持続可能な配当収益と利益成長の両立が期待できる銘柄の選別が重要になると考えています。ポートフォリオでは、エネルギー、通信、公益などの高配当銘柄に焦点を当てつつバランスのとれた舵取りを行なっています。今後も企業のファンダメンタルズを重視したボトムアップ調査に基づき、魅力的な配当収益と中長期的な資本成長の両立をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

項 目	第71期～第72期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 76	% 0.878	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.422)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.411)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.059	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.051)	
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.008)	
(c) そ の 他 費 用	10	0.121	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0.102)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(1)	(0.017)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	91	1.058	
作成期間の平均基準価額は、8,615円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

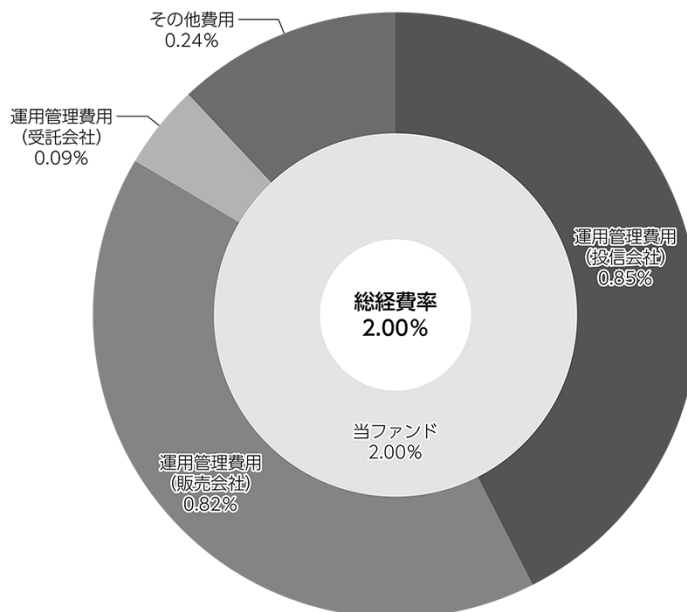
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第71期～第72期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア株式マザーファンド	13, 212	65, 854	48, 174	246, 128

○株式売買比率

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第71期～第72期
	オーストラリア株式マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	2, 437, 040千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	2, 548, 102千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0. 95

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2026年 2 月17日～2026年 8 月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年 8 月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第70期末	第72期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
オーストラリア株式マザーファンド	557,699	522,737	2,717,451

(注) 親投資信託の2026年 8 月17日現在の受益権総口数は、522,737千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年 8 月17日現在)

項 目	第72期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
オーストラリア株式マザーファンド	2,717,451	96.1
コール・ローン等、その他	110,572	3.9
投資信託財産総額	2,828,023	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) オーストラリア株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（2,759,627千円）の投資信託財産総額（2,829,797千円）に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=112.82円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第71期末	第72期末
	2026年5月15日現在	2026年8月17日現在
	円	円
(A) 資産	2,964,075,834	2,828,023,811
コール・ローン等	84,763,427	62,703,304
オーストラリア株式マザーファンド(評価額)	2,848,478,926	2,717,451,028
未収入金	30,831,763	47,867,779
未収利息	1,718	1,700
(B) 負債	54,815,915	53,944,197
未払収益分配金	40,479,305	38,357,692
未払解約金	1,032,678	1,808,281
未払信託報酬	12,390,963	12,682,685
その他未払費用	912,969	1,095,539
(C) 純資産総額(A－B)	2,909,259,919	2,774,079,614
元本	3,373,275,492	3,196,474,389
次期繰越損益金	△ 464,015,573	△ 422,394,775
(D) 受益権総口数	3,373,275,492口	3,196,474,389口
1万口当たり基準価額(C／D)	8.624円	8.679円

(注) 当ファンドの第71期首元本額は3,288,311,785円、第71～72期中追加設定元本額は258,191,747円、第71～72期中一部解約元本額は350,029,143円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第71期0.8624円、第72期0.8679円です。

(注) 2026年8月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は422,394,775円です。

○損益の状況

項 目	第71期	第72期
	2026年 2 月17日～ 2026年 5 月15日	2026年 5 月16日～ 2026年 8 月17日
	円	円
(A) 配当等収益	134, 192	146, 767
受取利息	134, 192	146, 767
(B) 有価証券売買損益	122, 756, 958	68, 503, 916
売買益	126, 374, 115	69, 579, 498
売買損	△ 3, 617, 157	△ 1, 075, 582
(C) 信託報酬等	△ 12, 722, 497	△ 12, 896, 200
(D) 当期損益金 (A + B + C)	110, 168, 653	55, 754, 483
(E) 前期繰越損益金	486, 413, 544	515, 830, 453
(F) 追加信託差損益金	△1, 020, 118, 465	△ 955, 622, 019
(配当等相当額)	(781, 865, 761)	(752, 904, 057)
(売買損益相当額)	(△1, 801, 984, 226)	(△1, 708, 526, 076)
(G) 計 (D + E + F)	△ 423, 536, 268	△ 384, 037, 083
(H) 収益分配金	△ 40, 479, 305	△ 38, 357, 692
次期繰越損益金 (G + H)	△ 464, 015, 573	△ 422, 394, 775
追加信託差損益金	△1, 020, 118, 465	△ 955, 622, 019
(配当等相当額)	(782, 806, 289)	(752, 974, 273)
(売買損益相当額)	(△1, 802, 924, 754)	(△1, 708, 596, 292)
分配準備積立金	556, 102, 892	533, 227, 244

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2026年 2 月17日～2026年 8 月17日の期間に当ファンドが負担した費用は6, 275, 587円です。
(注) 分配金の計算過程 (2026年 2 月17日～2026年 8 月17日) は以下の通りです。

項 目	2026年 2 月17日～ 2026年 5 月15日	2026年 5 月16日～ 2026年 8 月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	47, 499, 202円	10, 997, 077円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	62, 669, 451円	44, 757, 406円
c. 信託約款に定める収益調整金	782, 806, 289円	752, 974, 273円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	486, 413, 544円	515, 830, 453円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1, 379, 388, 486円	1, 324, 559, 209円
f. 分配対象収益(1 万口当たり)	4, 089円	4, 143円
g. 分配金	40, 479, 305円	38, 357, 692円
h. 分配金(1 万口当たり)	120円	120円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第71期	第72期
1 万口当たり分配金（税込み）	120円	120円

○お知らせ

約款変更について

2026年2月17日から2026年8月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第8条、第28条の2）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

オーストラリア株式マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日 2026年8月17日）
（2025年8月16日～2026年8月17日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年9月26日から原則無期限です。
運用方針	主として、オーストラリア企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	オーストラリア企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、オーストラリア企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<436801>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	S & P / A S X 2 0 0 指 数 (税引後配当込み、円換算ベース)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額	
		期 騰 落 中 率 (ベンチマーク)	期 騰 落 中 率				
	円	%		%	%	百万円	
14期(2022年8月15日)	30,412	20.0	262.30	12.6	92.4	5.1	3,374
15期(2023年8月15日)	32,920	8.2	282.57	7.7	90.6	6.4	2,806
16期(2024年8月15日)	36,018	9.4	325.10	15.1	91.0	8.0	2,652
17期(2025年8月15日)	41,243	14.5	374.80	15.3	90.4	8.9	2,525
18期(2026年8月17日)	51,985	26.0	466.51	24.5	92.0	5.7	2,717

(注) S&P/ASX 200指数 (税引後配当込み) は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス (S&PDJI) が発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。同指数の (円換算ベース) とは、公表指数を基に円換算したものです。なお、設定時を100として2026年 8 月17日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	S & P / A S X 2 0 0 指 数 (税引後配当込み、円換算ベース)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2025年 8 月15日	41,243	－	374.80	－	90.4	8.9
8 月 末	42,403	2.8	380.87	1.6	89.4	8.1
9 月 末	43,046	4.4	385.67	2.9	88.6	7.9
10月 末	44,525	8.0	399.28	6.5	88.3	8.0
11月 末	44,676	8.3	393.52	5.0	90.6	8.4
12月 末	46,390	12.5	408.11	8.9	89.1	8.4
2026年 1 月 末	48,348	17.2	430.42	14.8	89.7	7.8
2 月 末	51,312	24.4	454.78	21.3	91.1	5.1
3 月 末	47,865	16.1	418.75	11.7	92.5	4.7
4 月 末	50,745	23.0	448.03	19.5	92.4	4.8
5 月 末	50,089	21.4	444.15	18.5	92.3	5.1
6 月 末	50,084	21.4	446.26	19.1	88.7	8.3
7 月 末	51,684	25.3	459.40	22.6	91.4	6.3
(期 末)						
2026年 8 月17日	51,985	26.0	466.51	24.5	92.0	5.7

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2025年8月16日～2026年8月17日)

基準価額の推移

期間の初め41,243円の基準価額は、期間末に51,985円となり、騰落率は+26.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

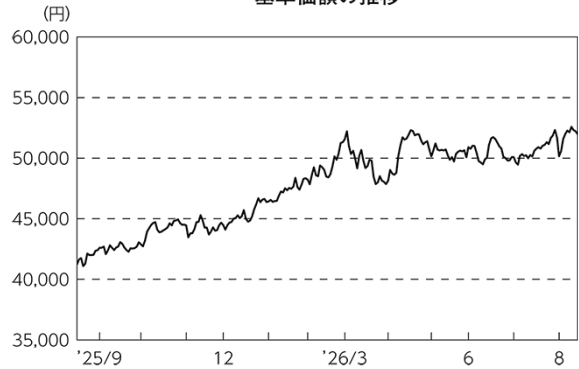
<値上がり要因>

- ・世界の株式市場が概ね堅調に推移したこと。
- ・中東情勢などを背景としたエネルギー価格の上昇が、エネルギー関連銘柄の株価を押し上げたこと。

<値下がり要因>

- ・インフレ圧力の再燃を受けてオーストラリア準備銀行（RBA）が複数回の利上げを実施したこと。
- ・米国・イスラエルとイランの軍事衝突の長期化懸念。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2025/08/15	2026/08/12	2025/08/20	2026/08/17
41,243円	52,584円	41,099円	51,985円

(オーストラリア株式市況)

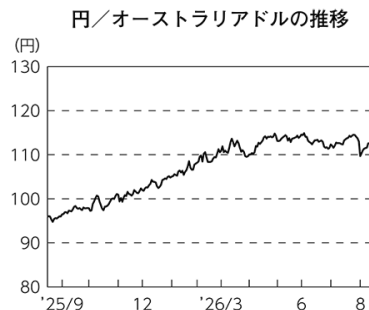
期間前半のオーストラリア株式市場は、インフレ動向と金融政策を巡る不透明感が高まる中、セクターおよび銘柄間で明暗が分かれる展開となりました。期間の初めには、インフレの鈍化を背景とした金融緩和期待が市場を下支えしましたが、その後はインフレ指標が再び上振れし、RBAの政策スタンスを巡る見方が不安定化しました。

こうした環境下、市場全体は概ね横ばいでの推移となりました。一方で、セクター間では跛行色が強くなり、素材セクターが大きく上昇した一方で、情報技術セクターやヘルスケアセクターは低迷しました。

期間後半の2026年3月は、前月末に始まった米国・イスラエルとイランの軍事衝突から地政学リスクが高まり、株式市場は一時大きく下落しました。しかしその後は、中国の景気対策への期待などから投資家心理が改善しました。加えて、原油価格の上昇を受けてエネルギー関連企業の株価が上昇したほか、米国ハイテク株高やAI（人工知能）関連投資への期待を追い風に、オーストラリア株式市場でも同セクターに買いが集まり、主要株価指数は期間末にかけて史上最高値圏まで上昇しました。

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中、ポートフォリオでは、経済環境やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、配当利回りなどを勘案し活発な銘柄入替を行ないました。

具体的には、市場の期待が高まったことで株価が上昇した銘柄を売却した一方で、相対的に株価が低迷し、また成長余地が見込まれる銘柄については、段階的な組み入れを実施しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は26.0%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率24.5%を概ね1.6%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

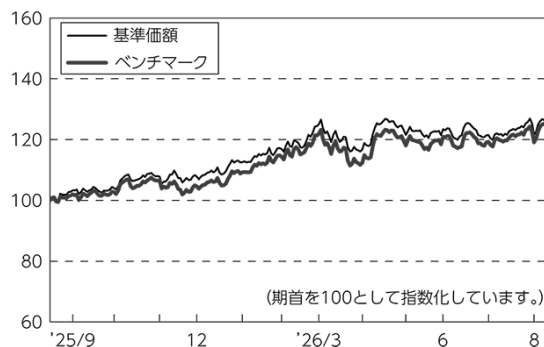
<プラス要因>

- ・エネルギー関連の大手企業の保有が、原油価格の上昇などを背景に、プラス寄与となりました。
- ・バリュエーション（価値評価）の割高な銘柄の一角に消極姿勢で臨んでいたこと。P E R（株価収益率）などで過去の水準から乖離している銘柄の幾つかがアンダーパフォームし、相対的にプラスに働きました。

<マイナス要因>

- ・オーストラリアを代表する鉱業企業に消極姿勢で臨んでいたこと。期間を通じてこの企業の株価が上昇しマイナスの影響となりました。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

オーストラリア株式市場において配当利回りの高い企業への投資魅力が高まりつつあるとみています。税制変更の見通しや企業の配当余力拡大などが、安定的な配当収入を重視する投資スタイルの追い風になると考えています。一方で、オーストラリア経済は成長鈍化への懸念や高金利が長期化する可能性、根強いインフレ圧力などの課題を抱えています。

市場全体のバリュエーションは改善しているものの、当戦略では、企業の利益見通しには、なお慎重な見方をしています。特に銀行、ヘルスケア、不動産、金関連セクターについては注意深くモニタリングしています。こうした環境下では、持続可能な配当収益と利益成長の両立が期待できる銘柄の選別が重要になると考えています。ポートフォリオでは、エネルギー、通信、公益などの高配当銘柄に焦点を当てつつバランスのとれた舵取りを行なっていきます。今後も企業のファンダメンタルズを重視したボトムアップ調査に基づき、魅力的な配当収益と中長期的な資本成長の両立をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 8 月16日～2026年 8 月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 59	% 0.123	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(53)	(0.111)	
(投 資 信 託 証 券)	(6)	(0.012)	
(b) そ の 他 費 用	76	0.161	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(76)	(0.161)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	135	0.284	
期中の平均基準価額は、47,597円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年 8 月16日～2026年 8 月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 16,836 (△ 274)	千オーストラリアドル 23,064 (ー)	百株 22,157	千オーストラリアドル 25,385

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	オーストラリア	口	千オーストラリアドル	口	千オーストラリアドル
	ARENA REIT	47,308	109	—	—
	VICINITY CENTRES	95,905	247	132,247	326
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	109,656	338	109,656	325
	DEXUS/AU	46,997	312	46,997	265
	GPT GROUP	81,113	389	165,667	856
	MIRVAC GROUP	79,301	152	84,948	150
	SCENTRE GROUP	—	—	73,780	282
	REGION GROUP	134,165	296	75,814	176
	STOCKLAND	115,426	448	160,583	778
小計		709,871	2,296	849,692	3,161

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2025年8月16日～2026年8月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	5,329,241千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,452,301千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月16日～2026年8月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年8月16日～2026年8月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2026年8月17日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額 邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル 千円		
AGL ENERGY LTD	—	153	135	15,288	公益事業
AMCOR PLC-CDI	277	—	—	—	素材
ANZ GROUP HOLDINGS LTD	498	143	559	63,110	銀行
APA GROUP	610	202	203	23,008	公益事業
ARISTOCRAT LEISURE LTD	66	—	—	—	消費者サービス
BHP GROUP LTD	395	346	2,125	239,823	素材
CAR GROUP LTD	—	232	701	79,113	メディア・娯楽
AMPOL LTD	231	—	—	—	エネルギー
CHALLENGER LTD	—	336	333	37,571	金融サービス
CHORUS LTD	—	225	178	20,104	電気通信サービス
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	103	123	2,069	233,450	銀行
COLES GROUP LTD	294	333	784	88,480	生活必需品流通・小売り
CSL LTD	59	39	536	60,537	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DOWNER EDI LTD	595	—	—	—	商業・専門サービス
EVOLUTION MINING LTD	—	404	534	60,250	素材
FORTESCUE LTD	238	497	878	99,081	素材
AMOTIV LTD	250	—	—	—	自動車・自動車部品
GRAINCORP LTD-A	—	237	128	14,495	食品・飲料・タバコ
ILUKA RESOURCES LTD	537	273	194	21,891	素材
DYNO NOBEL LTD	—	570	211	23,897	素材
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	—	506	412	46,520	保険
JB HI-FI LTD	—	36	295	33,334	一般消費財・サービス流通・小売り
LOTTERY CORP LTD/THE	877	651	350	39,521	消費者サービス
MACQUARIE GROUP LTD	16	15	400	45,207	金融サービス
METCASH LTD	1,613	—	—	—	生活必需品流通・小売り
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	261	169	702	79,275	銀行
NEWMONT CORP-CDI	60	—	—	—	素材
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	2,698	885	85	9,688	メディア・娯楽
NORTHERN STAR RESOURCES LTD	193	308	695	78,464	素材
ORIGIN ENERGY LTD	—	671	811	91,507	公益事業
ORICA LIMITED	137	205	455	51,359	素材
PINNACLE INVESTMENT MANAGEME	—	191	351	39,689	金融サービス
PREMIER INVESTMENTS LTD	—	103	129	14,603	一般消費財・サービス流通・小売り
QBE INSURANCE GROUP LTD	491	—	—	—	保険
AURIZON HOLDINGS LTD	1,653	787	327	36,944	運輸
RAMSAY HEALTH CARE LTD	58	39	177	20,003	ヘルスケア機器・サービス
RESMED INC-CDI	59	193	621	70,089	ヘルスケア機器・サービス
RIO TINTO LTD	105	67	1,124	126,888	素材
SANTOS LTD	504	—	—	—	エネルギー
SEEK LTD	167	158	241	27,220	メディア・娯楽
SIMS LTD	—	117	311	35,128	素材
STEADFAST GROUP LTD	—	406	216	24,369	保険
SUNCORP GROUP LTD	316	275	542	61,258	保険
SUPER RETAIL GROUP LTD	279	62	83	9,408	一般消費財・サービス流通・小売り
TELSTRA GROUP LTD	2,663	1,339	640	72,262	電気通信サービス
TPG TELECOM LTD	—	1,081	383	43,313	電気通信サービス

銘柄		期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額	
					外貨建金額	
(オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
TRANSURBAN GROUP		—	328	458	51,701	運輸
VENTIA SERVICES GROUP PTY LT		515	189	110	12,489	資本財
VIVA ENERGY GROUP LTD		863	—	—	—	エネルギー
VIRGIN AUSTRALIA HOLDINGS LT		1,119	—	—	—	運輸
WESTPAC BANKING CORP		322	428	1,513	170,794	銀行
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD		150	351	1,144	129,139	エネルギー
合 計	株 数 ・ 金 額	19,291	13,695	22,161	2,500,288	
	銘柄 数 < 比 率 >	36	41	—	<92.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		口	口	千オーストラリアドル	千円	%
ARENA REIT		—	47,308	108	12,275	0.5
VICINITY CENTRES		105,614	69,272	184	20,866	0.8
GPT GROUP		138,722	54,168	277	31,350	1.2
MIRVAC GROUP		115,558	109,911	194	21,948	0.8
SCENTRE GROUP		73,780	—	—	—	—
REGION GROUP		108,277	166,628	396	44,741	1.6
STOCKLAND		95,092	49,935	215	24,281	0.9
合 計		口 数 ・ 金 額	637,043	497,222	1,377	155,464
銘 柄 数 < 比 率 >		6	6	—	< 5.7 % >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2026年 8月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,500,288	88.4
投資証券	155,464	5.5
コール・ローン等、その他	174,045	6.1
投資信託財産総額	2,829,797	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,759,627千円) の投資信託財産総額 (2,829,797千円) に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=112.82円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 8月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,877,665,812
コール・ローン等	57,179,601
株式(評価額)	2,500,288,569
投資証券(評価額)	155,464,091
未収入金	154,688,410
未収配当金	10,044,984
未収利息	157
(B) 負債	160,219,567
未払金	112,351,788
未払解約金	47,867,779
(C) 純資産総額(A－B)	2,717,446,245
元本	522,737,526
次期繰越損益金	2,194,708,719
(D) 受益権総口数	522,737,526口
1万口当たり基準価額(C／D)	51,985円

(注) 当ファンドの期首元本額は612,404,387円、期中追加設定元本額は13,212,254円、期中一部解約元本額は102,879,115円です。

(注) 2026年 8月17日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・オーストラリア株式ファンド 522,737,526円

(注) 1口当たり純資産額は5.1985円です。

○損益の状況 (2025年 8月16日～2026年 8月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	135,186,276
受取配当金	135,143,762
受取利息	42,514
(B) 有価証券売買損益	488,410,056
売買益	818,866,905
売買損	△ 330,456,849
(C) 保管費用等	△ 4,494,674
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	619,101,658
(E) 前期繰越損益金	1,913,308,104
(F) 追加信託差損益金	52,642,362
(G) 解約差損益金	△ 390,343,405
(H) 計(D＋E＋F＋G)	2,194,708,719
次期繰越損益金(H)	2,194,708,719

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2025年8月16日から2026年8月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第50条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第52条)
- 当ファンドについて、運用指図権限の委託先であるヤラ・キャピタル・マネジメント・リミテッドがその所在地を変更したため、2026年2月27日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第16条)
- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第8条、第26条の2)